

地方独立行政法人

大阪府立環境農林水産総合研究所

Research Institute of Environment, Agriculture and Fisheries, Osaka Prefecture







大阪の環境と農林水産業を支える総合研究機関

はじめに

環農水研は、1919(大正8)年設立の「大阪府立農事試験場」から始まり、2007(平成19)年に環境情報センター、食とみどりの総合技術センター(水生生物センターを含む)、水産試験場を統合し、「大阪府環境農林水産総合研究所」として改組、2012(平成24)年には地方独立行政法人に移行しました。

地域に根差した研究所として、府域の農水産物の安全・安心かつ安定的な供給に関する研究や、 大気・水質のモニタリング、自然環境や野生生物の適切な保全・保護に関する調査等を行っています。 また、新たなたんぱく資源の創出など、近年の社会的ニーズに対応するとともに、将来を見据えた調査研究も 実施しています。



©Expo 2025

実施しています。 国連で採択された持続可能な開発目標 (SDGs) を踏まえつつ、事業者・行政・地域社会から頼りに される存在感のある研究所をめざします。2025年には大阪・関西万博が開催されます。これを、脱炭素社会の 推進、農林水産・食品分野等の研究成果により環農水研が社会的役割を果たす好機ととらえて、調査研究に

取組んでまいります。

















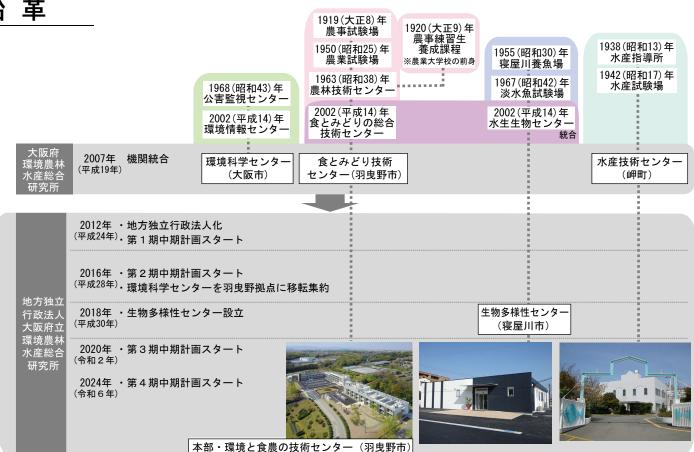








沿革



組織体制



自然 • 環境科学

大気・水質等の保全に関する調査研究

- 環境リスクが懸念される有害化学物質の分析法開発及び 大気、水質のモニタリングの実施、光化学オキシダント 等による大気汚染の実態把握
- ■環境基準超過時のダイオキ シン類等の追跡調査、農薬 残留に関する調査・分析
- ■大阪府が実施する環境分析の 精度管理への支援
- ■海域や河川等における プラスチックの蓄積・流出 実態の把握



GC/MSでの分析

緊急事案への対応

■ 河川等で発生した異常水質の原因究明のための水質分析、建築物の解体工事に伴うアスベスト分析等、 緊急を要する検体の分析



アスベスト分析

気候変動適応・カーボンニュートラルに 向けた取組の支援

- ■おおさか気候変動適応センターを運営し、気候変動の 影響や適応に関する科学的な知見等を収集・分析し、発信
- 気候変動適応関連の研究や暑さ対策に関する取組を推進
- 中小事業者の省エネ・省CO2の取組支援と情報発信



工場での省エネ診断



暑さ対策の啓発イベント

生物多様性の保全

- イタセンパラ等の希少生物の保全に関する調査研究、 外来生物の実態把握・駆除技術の開発
- 魚病まん延防止や魚類へい死事故原因究明のための調査 及び情報発信
- ■「大阪府生物多様性地域戦略」推進のための技術支援と 生物多様性保全に取組む企業や一般府民等への普及啓発、 市民参加型の調査研究体制の確立



淀川水系で野生復帰が進んだイタセンパラ (国指定の天然記念物、国内希少野生動植物種)

森林の保全・防災に係る調査研究

- グリーンインフラとしての 防災・減災効果についての 検証・評価
- ■森林等の二酸化炭素吸収量 に関する基礎データの収集



特定外来生物クビアカツヤカミキリ



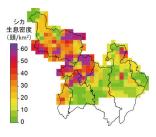
豪雨による土砂災害の発生

■ 府域で急激に拡大している 外来生物に対処するための 」 調査及び技術支援

野生鳥獣の保護管理及び被害対策

■シカやイノシシなどの適切な保護管理や、アライグマなど外来生物の被害対策に係るモニタリング調査、動物由来感染症のモニタリング調査体制の構築





農地や森林等に被害をもたらしているシカと大阪府北部での生息密度分布

水産·海域環境

大阪湾における養殖業の支援

- 海藻養殖への技術支援、情報提供
- 大阪湾に適した牡蠣養殖方法に関する調査研究と技術支援
- 魚病対応と指導



大阪産で採苗したシングルシード養殖用種ガキ

大阪湾の水産資源の管理・増殖技術

- ■漁業資源の回復や管理に活用するための資源状況の モニタリング
- 育成した稚魚の放流等、栽培漁業の調査研究
- 府内産水産物のブランド化推進



調査のために標識をつけて放流されるメバルの稚魚

農業・食品

病害虫診断・防除技術の開発

- 検鏡・培養・遺伝子診断 による病害虫の診断技術 の開発や、薬剤感受性の 調査
- 植物の抵抗性を高める 病害防除や様々な波長 域の光を利用した害虫 防除、天敵利用による 病害虫防除等、環境へ の負荷が少ない病害虫 防除技術の開発



ナス等に被害をもたらすアザミウマ類 の幼虫(右)を捕食する 天敵スワルスキーカブリダニ(左)



施設栽培での赤色LED装置の照射

大阪産(もん)農産物の栽培技術の開発

- 野菜や果樹、花きの新たな栽培方法の検討や生理障害 対策、優良種苗の増殖等により、高品質な農産物を 低コストかつ安定的に生産するための技術の開発
- 夏季高温に対応するための栽培環境制御技術の開発
- 生産基盤である土壌の健全性の調査、有機資材や緑肥 作物を活用した適切な土壌管理技術の開発



土づくりで表土の 炭素貯留量が 増加した土壌



細霧冷房を用いた水なす栽培における つや無し果の発生抑制の効果検証

昆虫を活用した新たなたんぱく資源の創出と その活用法の開発

- 世界的に不足が予測される たんぱく資源を国内の食品 残渣などから育成した昆虫 で補い、魚や家畜の国産 飼料化を推進
- 昆虫たんぱく質のメリット や活用法を探索し、昆虫/ ビジネスの社会実装を支援



アメリカミズアブの成虫と幼虫

大阪湾の海域環境に関する調査研究

- ■漁業被害の未然防止や食の安全の向上 に向けた、有害・有毒プランクトンの発生 状況調査と発生機構の解明
- 府民の憩いの場としての美しい海域環境と、豊かな漁業生産を両立させるための 栄養塩管理のあり方に関する研究



貝毒の原因となる 有毒プランクトン



調査船「おおさか」

ぶどう産地の活性化支援

- ■大阪ワインのブランドカ 向上のための技術支援
- ■大阪の環境に適した オリジナル品種の育成・ 新たな醸造用品種の 導入・開発



甘さと芳醇な香りが特徴の 環農水研育成ぶどう「虹の雫」



暑さや病気につよい 「大阪 R N-1」



GI大阪ワイン

食・健康関連の技術開発

- 未利用資源を含む農水産物の加工技術の開発や新商品 開発の支援
- 減塩や機能性成分分析等の調査研究による食品の付加 価値向上



乾燥工程における水なすの退色防止技術の開発

農林水産物を活かした地域活性化支援

- 府内産農林水産物の 商品開発、ブランド 化、地域連携などの 課題解決を専門家と 共に支援
- 6次産業化や衛生管理、 販路開拓、商品PRなどの 研修会等を開催



人材育成研修会の様子

ハートフル農業への支援

- 農業を通して、障がいや年齢、性差などにかかわらず、一人ひとりの活躍の場を生み出すことを目的として、障がい等に対応した作業方法や新たな栽培方法の研究開発を実施
- 支援学校や大学等と連携した作業改善の実証やスマート技術を用いた作業支援ツールの開発



多様な人が作業しやすい 位置にぶどうの房が着果 するように栽培方法を改良

都市型畜産業への支援 TII

■ 大阪府内の酪農家に対する 後継牛の育成支援や、畜産 環境問題への相談対応



育成中の雌子牛

研究成果の発信と技術・知見の活用推進

研究成果発信・イベント

研究成果はホームページやfacebook、X(旧Twitter)、メールマガジンで随時お知らせするほか、一般の 方にもご参加いただけるシンポジウムやセミナー等でも定期的に発信しています。また、子ども向けの体験 イベント等も開催しています。



環農水研シンポジウムで研究報告を行う研究員



水産技術センターで夏に実施する「海の教室」 調査船でアカガイの放流体験等を実施

他機関との連携

公立大学法人大阪等と包括連携協定を締結し、学術研究の振興と研究成果の社会活用の推進を図って います。また、大阪府や企業、市民団体等と連携した取組も行っています。



大学等とセミナーを共催し、研究成果を紹介



企業の生物多様性保全活動を促進するため、 ビオトープを活用して学術・技術的な支援を実施

農業人材の育成 ― 農業大学校(大阪農大)

大阪農大では、農業経営者や農業技術者の育成を目的として、幅広い視野から農業を考え、時代の変化に対応 した判断力・応用力を習得できるよう実践的な教育を行っています。環農水研の調査研究成果や、現場で積み 重ねてきた経験・情報に基づく講義と実習を行います。

高校卒業以上の方を対象に、講義と実習を組み合わせ2年間の実践的な 農業教育を実施。2年生は3コースに分かれて専門的な知識・技術を習得

体系的な進路指導により、卒業生の多くは就農または農業関連分野に就職。 大阪農業を支える人材として活躍しています。

農業技術研鑽コース…大阪における最先端の農業研究を実施する環農水研の研究部門のサポートにより、専門的な知識習得をめざします。 農業実践コース…学生自らが作成した経営計画に基づき、ほ場の周年管理を

行い、技術力と経営力を習得し、就農をめざします。

農 業 参 入コース…農家や校内での実習を重視し、卒業後はすぐに新規就農 できる活力ある担い手の育成をめざします。

養成科

新規就農をめざす方や定年帰農の方等を対象に、集中講座(1年間、野菜 部門・果樹部門)を開催。基礎的な農業生産技術を学びます。また、農業に 関心を持ち始めた方を対象に農薬・農業機械等、実践的な技術を習得する 農業入門講座を開催します。



受託研究·共同研究

- ○農林水産業、食品等の分野で、府内企業等からの 依頼に応じ、研究員が持つノウハウや環農水研が 所有するほ場等を活用し、課題の解決を図ります。
- ○事業者を含む共同研究事業体(コンソーシアム)を 構成し、競争的資金等を活用した技術開発を行い
- (例)ガラス温室・ほ場を利用した栽培試験 新素材の農業用資材としての利用調査 農産物・食品の流通・保存・加工等の試験 等

料金: 有料(実験用消耗品や光熱水費等により算出します。)

簡易受託

- ○研究費の総額が20万円以下の試験・ 調査・研究・開発等を、簡易な手続き にてご依頼いただけます。
- (例)試作食品の製造(レトルト食品等) 試作飲料の味および成分の比較 花の日持ち性評価試験 ワイン品質向上のためのブドウ果汁分析 簡易分析器による栄養成分の測定 等

(実験用消耗品や光熱水費等により 算出します。)

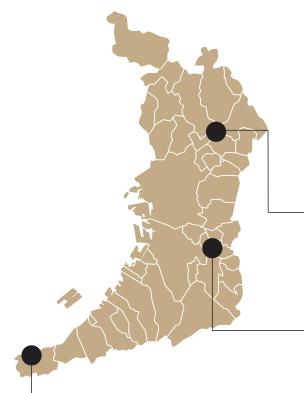
食品関連実験室の 共同利用

○食品に関する受託研究等を お考えの方々に、原則1回、 試行的に食品関連実験室の 機器を利用して試作や分析を 行っていただくことができます。

(対象機器)真空凍結乾燥機(フリーズドライ) 具空体和彩味版(ノッ ヘーノー 真空包装機、レトルト調理器 スチームコンベクションオーブン 物性測定装置、pH測定等

料金:無料(消耗品等は利用者負担)

環農水研 各施設のご案内



至京都 生物多様性センター 京阪バス 淀川河川公園 淀川河川 公園 京阪ハス 木屋元町 京阪本線 太間公園 香里園駅 至京橋

生物多様性センター

〒572-0088 寝屋川市木屋元町10-4 TEL 072-833-2770 / FAX 072-831-0229

電車・バス:・京阪本線「香里園」駅(西口)から ねやBUS事業 木屋ルートに乗車、 「木屋元町」停留所下車、西へ約200メートル(約3分) 寝屋川市駅(西口)から ねやBUS事業 木屋ルートに乗車、 「太間公園」停留所下車、北へ約650メートル(約9分)

本部・環境と食農の技術センター

〒583-0862 羽曳野市尺度442 TEL 072-958-6551 / FAX 072-956-9691

電車・バス:・近鉄南大阪線「藤井寺」から近鉄バス「羽曳が丘八丁目」 停留所下車。羽曳が丘八丁目停留所から北門(通用口) まで約100メートル(南方面つきあたりを右すぐ) 北門から入り、事務所棟まで約650メートル(約9分)

・近鉄南大阪線「古市」からタクシーで約15分

車:南阪奈道路「羽曳野」出口すぐ

<農業大学校>

本部・環境と食農の技術センター内にあります。 募集等のお知らせはホームページで案内いたします。 TEL 072-979-7032



水産技術センター

〒599-0311 泉南郡岬町多奈川谷川2926-1 TEL 072-495-5252 / FAX 072-495-5600

電車・バス:・南海多奈川線「多奈川」駅から徒歩1.9キロメートル(約24分) ・南海本線「みさき公園」駅または南海多奈川線「多奈川」駅から 岬町コミュニティバスで「谷川」停留所下車、北方面に 約500メートル(約7分)



